

令和6年第1回 教育委員会会議 定例会 会議録

1 日時 令和6年1月17日(水) 15時25分～15時40分

2 場所 教育委員会会議室

3 出席者

委員 上田敬子(議長)、大隈恵子、高石双樹

事務局職員

教育部長(山田哲史)、教育総務課長(梶原康治)、学校教育課長(桑原昭佳)、
学校教育課長補佐(平田隆輔、有吉ひろみ)、学校給食課長(宮本敏行)、
生涯学習課長(中村達也)、生涯学習課長補佐(石川律子)、文化課長(坂口信治)、
文化課文化財保護推進室長(渡邊淳)

書記

教育総務課総務係長(大久保恵子)、教育総務課総務係員(湯浅美穂)

4 案件

(1) 議決事項

議案第1号 財産の譲渡(旧山口コミュニティセンター建物)

(2) 報告事項

報告第1号 飯塚市旧山口コミュニティセンター移譲事業補助金交付要綱の制定について(補助執行事務)

報告第2号 STEAM Lab実証研究に関する協定及び覚書の締結について

報告第3号 令和5年度学校開放日の結果報告について

報告第4号 飯塚市学校給食体験イベントの開催について

(3) 協議事項

◆令和6年第1回教育委員会会議 定例会 会議録

(開催日時：令和6年1月17日(水) 15時25分～15時40分)

○上田委員

ただいまより令和6年第1回教育委員会会議 定例会を開会いたします。

■議案第1号 財産の譲渡(旧山口コミュニティセンター建物)

《説明：生涯学習課長(中村達也)》

議案第1号「財産の譲渡(旧山口コミュニティセンター建物)」について、ご説明いたします。

議案書の1ページをお願いいたします。旧山口コミュニティセンターは、平成15年2月13日に土地改良財産譲与契約の締結により、福岡県から旧筑穂町に譲渡されている施設であり、建物の耐用年数であります22年間が経過するまでは譲渡先である飯塚市が所有すべきものとされ、令和2年(2020年)3月末までは第三者への譲渡等による名義変更ができなかったため、山口自治会と無償貸借契約を締結し、自治公民館として活用してきました。

平成20年10月7日飯塚市公有財産調整委員会において、「行政財産用途廃止を行い、普通財産とすること」「山口自治会に自治公民館として無償貸借する方針(公共施設のあり方基本方針)」を提案し承認され、その後、令和5年8月23日飯塚市公有財産調整等委員会には、普通財産の無償譲渡及び所管換が承認されたものでございます。

つきましては旧山口コミュニティセンター建物を譲渡することにおいて、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定、地方自治法第96条第1項第6号の規定に基づき、本案を提出するものでございます。

なお、敷地につきましては、『「公共施設のあり方に関する実施計画」を実施するにあたっての基本的な考え方』に基づき、山口自治会に無償貸与するものでございます。

以上、簡単ではございますが財産の譲渡(旧山口コミュニティセンター建物)について、説明を終わらせていただきます。

(原案可決(全会一致))

■報告第1号 飯塚市旧山口コミュニティセンター移譲事業補助金交付要綱の制定について(補助執行事務)

《説明：生涯学習課長(中村達也)》

報告第1号「飯塚市旧山口コミュニティセンター移譲事業補助金交付要綱の制定について」ご説明いたします。

議案書の12ページをお願いいたします。生涯学習課が所管します旧山口コミュニティセンター建物においては、公共施設のあり方に関する基本方針において「施設の耐用年数(22年)経過後に地元への施設移譲を検討する」方針とされていることにより、今後、地元自治会(認可地縁団体)に施設の移譲を行うことで、解体相当の経費をもって補償費とすることから、旧山口コミュニティセンター移譲事業補助金を交付するにあたりまして、飯塚市旧山口コミュニティセンター移譲事業補助金交付要綱を定め交付する必要があることから、この度要綱を定め、告知したためその内容を報告するものでございます。

以上、簡単ではございますが飯塚市旧山口コミュニティセンター移譲事業補助金交付要綱の制定につきまして、説明を終わらせていただきます。

■報告第2号 STEAM Lab実証研究に関する協定及び覚書の締結について

《説明：学校教育課長(桑原昭佳)》

報告第2号「STEAM Lab実証研究に関する協定及び覚書の締結について」ご説明いたします。

議案書の15ページをお願いいたします。企業と協同して「STEAM教育実証研究事業」を実施するため、飯塚市とダイワボウ情報システム株式会社とのSTEAM Lab実証研究に関する協定を令和5年12月15日に締結いたしました。

協定の期間は、協定締結の日から令和8年3月31日までで、飯塚市立飯塚鎮西小学校におけるカリキュラム開発・授業支援とあわせて、充実したSTEAM教育を実現するために環境構築を目的とした「STEAM Lab実証研究」を実施することにより、学校におけるICT活用をさらに推進するとともに、STEAM教育の推進を図ることを目的としております。

企業との合意事項につきましては、企業より提供されるICT関連機器を活用してSTEAM教育の有効性について実証研究すること、環境構築における機材の譲渡に関する事、機材の管理及び取扱いに関する事などでございます。

また、協定書に明記されていない事項など、協定を補完するために、STEAM Lab実証研究に関する覚書を、令和5年12月18日に締結いたしました。覚書の期間は、協定と同様に、覚書締結の日から令和8年3月31日までで、覚書の内容は、機材の譲渡に関する事、譲渡機材の取扱いに関する事、STEAM教育実証研究の実施に関する事などでございます。なお、本事業の実証研究期間は、令和6年4月1日から令和8年3月31日までの2年間でございます。

また、STEAM Labの開設セレモニーを、令和6年3月26日10時から、飯塚市立飯塚鎮西小学校で実施する予定としておりますが、教育委員の皆さまには、改めてご案内をさせていただき予定でございます。

なお、議案書17ページから18ページに協定書の写しを、19ページから27ページにかけて覚書の写しを添付しております。

以上、簡単ではございますが、報告第2号についての説明を終わります。

■報告第3号 令和5年度学校開放日の結果報告について

《説明：学校教育課長(桑原昭佳)》

報告第3号「令和5年度学校開放日の結果報告について」ご説明いたします。

議案書28ページをお願いいたします。令和5年11月13日月曜日に、市立小中学校全校及び飯塚日新館小・中学校において、学校開放日を4年ぶりに実施いたしました

参加人数は、保護者・一般参観者を含めた合計で、小学校が3,409人、中学校が568人、小中一貫校幸袋校、飯塚鎮西校、颯田校及び穂波東校の4校が1,560人、飯塚日新館小・中学校が84人となり、総合計は5,621人でございました。

議案書29ページには、各学校の参加者内訳と、平成23年度からの参加者数の推移を記載しております。参加者数は、前回実施した令和元年度の11月と比較しますと70人の増となっております。

また、議案書30ページから40ページには、各学校で実施した開放日当日の内容等を記載しております。

以上、簡単ではございますが、報告第3号についての説明を終わります。

■報告第4号 飯塚市学校給食体験イベントの開催について

《説明：学校給食課長(宮本敏行)》

報告第4号「飯塚市学校給食体験イベントの開催について」ご説明いたします。

議案書41ページをお願いいたします。飯塚市学校給食体験イベントは、学校給食に対する理解を深めるとともに、食育の推進を図ることを目的に平成22年度から令和元年度まで開催しておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から令和2年度から4年度まで中止といたしまして、今年度は4年ぶりに開催するものでございます。

主催は、学校給食課が事務局を担当しております「飯塚市学校給食会」、共催は、「飯塚市教育委員会」「飯塚市地産地消推進協議会」でございます。

開催の日時及び場所は、本年2月25日日曜日午前11時から午後2時まで、二瀬交流センターにおいて開催いたします。

周知といたしましては、市内の小中学校のほか、市内の認定こども園、保育所、幼稚園にポスターを配布し、掲示をお願いしております。また、広報いづか、ホームページ等に掲載しております。

イベントの内容でございますが、議案書の42ページの資料をお願いいたします。こちらが掲示をお願いしておりますポスターでございます。記載しておりますように、給食試食会を中心に、さまざまな体験コーナーを設けた参加型のイベントとなっております。

企画、運営につきましては、小中学校の栄養教諭の先生方を中心としまして、学校給食課の職員、給食調理委託業者及び直営調理員で行っております。

今年度につきましては、共催していただいております「飯塚市地産地消推進協議会」より福岡県・まちむら交流活動支援事業の一環といたしまして、試食会の食材等の提供を受けております。

以上、簡単でございますが報告を終わります。

■教育行政について

(継続審議)

○上田委員

以上をもちまして、本日の全ての議題の審議は終了いたしました。

これをもちまして、令和6年第1回教育委員会会議 定例会を閉会いたします。

なお、次回定例会につきましては、令和6年2月16日（金）14：00からです。